

3. 掛かり釣りに使用するロープ

海底に食い込んで効いたアンカーにとって、船体とアンカーとの間を結ぶロープは、船体の抵抗と潮流の影響を受けて船とアンカーを結ぶ働きをしています。さらにアンカーの投入、引き揚げなどの作業性にも影響するので、ロープの役割をよく理解して適切なものを選んで使用することが必要です。掛かり釣りに使用するアンカーロープは、長く使用するため**縊りがかかりづらく、扱いやすいもの**、潮流の影響を受けやすいので、**水に沈み細く強度のあるもの**、素手やウィンチによって作業するため、**手触りが良**

くスレに強いもの、最後に根掛かりなどして最悪の場合アンカーとともに捨てることにもなるので、できるだけ**安価なもの**ということになります。これらを総合すると、三ツ打ちよりも八ツ打ち(クロス)ロープ、クレモナよりもナイロンということになり、まだまだ種類(16打、32打、テトロン)はありますが、コスト面なども考え合わせると掛かり釣りに使用するアンカーロープは、FMSではナイロクロスロープが適切と考えます。



●ナイロクロスロープ(軟打)

サイズ(m/m)	破断強度(kg)	価格(m単位)
8	1060	¥220
10	1680	¥308
12	2360	¥418
14	3140	¥550
16	4110	¥726

ナイロクロスロープは硬打と軟打があります。アンカーロープには作業上の扱いやすさの面で軟打が良く、掛かり釣りに使用するアンカーロープとして、FMSでは軟打を用意しております。

※コースロープ加工いたしますのでご指定ください。
1ヶ所¥1,980

掛かり釣りの場合、ロープの長さは海底での根掛かりや岩礁での傷みなどを考えると、ロープの1巻は200mの長さであるため、1巻か少なくとも100mという単位で使用するのが望ましく、ロープの太さ(強度)に関しては通常少なくとも船体重量(排水量)の1/2以上の強度のものを使用するのですが、ナイロクロスロープは比較的強度があるため、潮流に

影響する太さや手触りで選ぶほうが適しているといえるでしょう。船の適合サイズとして40フィート以下で16~14mm、35フィート以下で14~12mm、30フィート以下で12~10mm、25フィート以下で10~8mm、20フィート以下で8mmという目安ですので参考にして下さい。

4. 掛かり釣りに使用するアンカー

アンカーには、外国製品、日本製品とさまざまな種類があり、さらにはいろいろな工夫を凝らしたものなども含めると非常に多くのものが回っています。そして、それらのアンカーにはいろいろと特性があり、長所や短所がありますので、実際に選ぶ場合、それぞれの違いを良く理解して適切なものを選ぶことが最も良い

方法です。すべてにオールマイティーで、船に収納しやすく、ましてや掛かり釣りに適したアンカーとなるとなかなか無いのが現状です。ここでは多くのアンカーの種類の中からフィッシング時にアンカーを打つ場所として多い海底の底質に合わせて、掛かり釣りに使用する5タイプのアンカーを紹介いたします。

●スーパーフッカーアンカー(鉄亜鉛メッキ)



重さ(Lbs)	船の適合サイズ(目安)	価格
9	16~24フィート	¥10,120
14	24~30フィート	¥17,490
18	30~34フィート	¥20,020
25	34~38フィート	¥27,280

●鉄亜ロングリンクチェーン

6mm m/¥880

8mm m/¥1,540

●鉄亜アンカーシャックル

6.4mm ¥407

8.0mm ¥462

9.5mm ¥638

※チェーンの長さは一般的に3mが基本で8mmチェーンで約3kgになります。

※1Lbs=0.4536kg

●二爪錨アンカー(鉄亜鉛メッキ)



重さ(kg)	船の適合サイズ(目安)	価格
4	25フィート以下	¥20,680
6	23~27フィート	¥23,980
8	28~34フィート	¥29,480
10	35~40フィート	¥34,980

Option

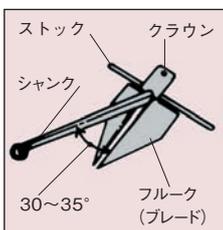
●エンビ管棒

4・6kg用 ¥2,750

8・10kg用 ¥3,300

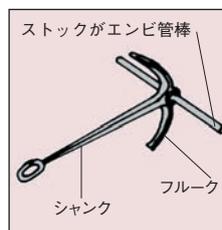
停泊用として、ステンパイプ入エンビ管棒、鉄棒も用意しておりますのでお問い合わせ下さい。鉄棒の場合は、その重量分アンカーの重さが重くなります。

船の適合サイズは、あくまでもチェーンを3m以上付け掛かり釣りする場合の適合目安であり、一昼夜停泊させるアンカーリングの船の適合サイズではありません。



底質が砂泥地に適したアンカーであり、米国ダンフォースアンカーに似せて国内で生産されたタイプであり、比較的安価なタイプです。最悪、根掛かりさせた場合などもクラウン部分の穴を利用して回収用ロープなどで引き抜くこともでき、いろいろと工夫ができることが特徴です。

いろいろなメーカーでこのダンフォース型アンカーを生産していますが、選ぶ時にはシャックとフルーク(ブレード)の開きの角度に気をつけて下さい。最も最良とされているのが30~35°であって、その範囲をこえるタイプはいくら海底と平行に引いても食い込みにくいので注意が必要です。



砂泥地から岩礁地帯までいろいろな底質に効きめのある比較的万能なタイプです。岩礁地帯では根掛かりさせて効かせ複雑に絡み合った岩礁に入りこんだ場合でもストック(エンビ管棒)が曲がることで抜錨することができます。さらにストックは取り外しできるので、ボートへの収納も便利です。またストックをエンビから鉄などの折れにくい材質に替えることによって砂泥地でもより確実に効果を発揮します。

(ステンパイプ入エンビ管棒に関しては、エンビ管棒では少々弱すぎる時などにご使用下さい。)

軽くて良く効き、根掛かり時の抜錨も簡単、しかも錆びなくて安価であるという小型フィッシングボートに最も適したアンカーが登場しました。以下にその特徴を記しました。アンカーを効かせる最大の要素は重量ではなくフルーク（ブレード）が海底に食い込む面積が大きいことですが、硬質材とフルークの波型プレス加工により同類のアンカーと比べて面積は同じなのに何と重量は1/2以下で仕上げられています。

●フッカーアンカー



CHECK POINT

チェーンを付けなくても使えますが、このアンカーの効力を最大限に引き出すためには2~3mのチェーンを付けることをお勧めします。



シャンクを丸棒でループ状にしてその間にリングを通し、根掛かりした時などは反対側にローブを移すことで反転させて抜錨することができます。

本格的な溶融亜鉛メッキ（どぶづけ）仕上げです。これだけメリットがあるにもかかわらず価格はリーズナブルです。

サイズ	重量 (kg)	全長×全幅 (mm)	船の適合サイズ	価格
5H	1.7kg	342×295	~16フィート	¥4,400
7H	2.0kg	342×372	~22フィート	¥4,950
10H	2.3kg	422×370	21~27フィート	¥6,600
13H	3.0kg	530×465	26~33フィート	¥8,580
15H	3.8kg	530×470	32~38フィート	¥11,660

ウエストマリン社は最もスタンダードなダンフォースアンカーの伝統的形狀や品質を損なうことなく設計し、全米のストアで販売することで最も低価格なコストでトラディショナルアンカーを誕生させることに成功しています。

このアンカーは爪の部分が自重を軽くするために厚みを抑えて作られ、高強度を維持し広い面積を保つことによって高把駐力を実現しています。表面は高熱溶解亜鉛メッキ仕上げなので錆びにくく耐久性があり泥、砂地に最も適切なアンカーです。

●トラディショナルアンカー

サイズ	重量 (kg)	全長×全幅 (mm)	船の適合サイズ	価格
4Lb	1.8	490×370	~16フィート	¥6,380
8Lb	3.6	600×470	16~24フィート	¥10,340
13Lb	5.9	720×550	21~32フィート	¥17,380
26Lb	11.8	900×690	28~40フィート	¥38,500



●フロートスタンディングアンカー

モデル	自重/水中重(kg)	全長×全幅(mm)	船の適合サイズ	価格
S580	3.3/1.0	580×120	~24フィート	¥19,800
S620	3.5/1.25	620×120	~30フィート	¥19,800
S820	7.8/2.2	820×160	~45フィート	¥30,800

CHECK POINT

自重が軽く、フロートの浮力により水中で約1/3の重さになるため、錨爪が海底に食い込む能力が不足します。したがって海底と平行に引くことができるようチェーンを2~3mつけることが重要になります。

※FMSでは8mmチェーン3m付けることをお勧めします。(8mmチェーン1mは約1kg)

まさにアンカー革命、ストック（横棒）が無くシャンクに浮力体を背負いその浮力でフルーク（錨爪）を海底に突き刺させる考え方。さらにその浮力体によって自重3.3kgが水中では1kgになるのでアンカーの引揚げは容易になります。砂泥地から岩礁地帯に適しコンパクトで軽量の掛かり釣りに最も適した万能型のアンカーです。

伝統のあるフィッシャーマンタイプのアンカーで、折りたたむとコンパクトな棒状になり場所を取りません。底質は万能型で小さなサイズはゴムボートやローボートに多く使われています。



●フォールディングアンカー

サイズ	重量(kg)	価格
1.5Lb	0.7	¥2,970
3Lb	1.4	¥5,720
5Lb	2.3	¥8,800
7Lb	3.0	¥11,660

注) 浮力体が付いている関係で水深が深くなると機能しない事があります。水深100mでのテストは行ないましたが、アンカーの着底まではだいぶ時間がかかってしまいます。チェーンを追加し重くする等の工夫が必要ですが、水深50m位までが適切な使用範囲と考えます。